

浅海定線調査結果(令和6年1月5日)

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所

1. 観測結果

	令和6年1月	平年値との差 (平年値)	昨年1月との差 (昨年1月観測値)
水温 (℃)	表層	11.2	+ 1.4 (9.8)
	底層	11.1	+ 1.2 (9.9)
塩分 (PSU)	表層	33.16	+ 0.23 (32.93)
	底層	33.18	+ 0.14 (33.04)
透明度 (m)	8.0	+ 2.8 (5.2)	+ 0.2 (7.8)

※ 観測値 : 周防灘12定点の平均値を表しています。
※ 平年値 : 過去30年分の同月平均値を表しています。

2. 概況

(1) 水温

- ・ 表層、底層ともにやや高めでした。

(2) 塩分

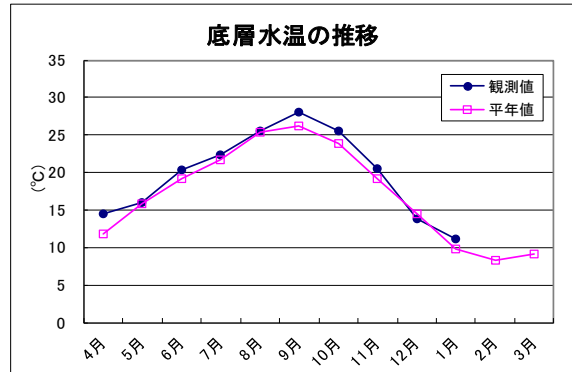
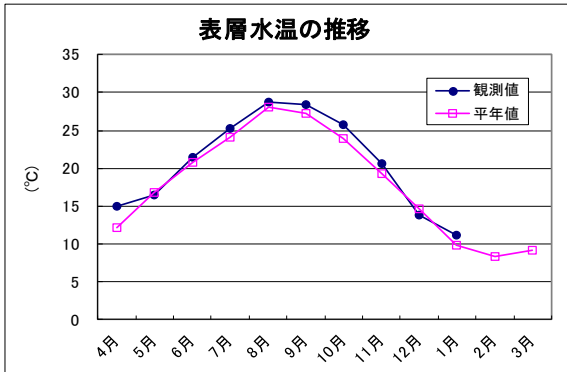
- ・ 表層、底層ともに平年並みでした。

(3) 透明度

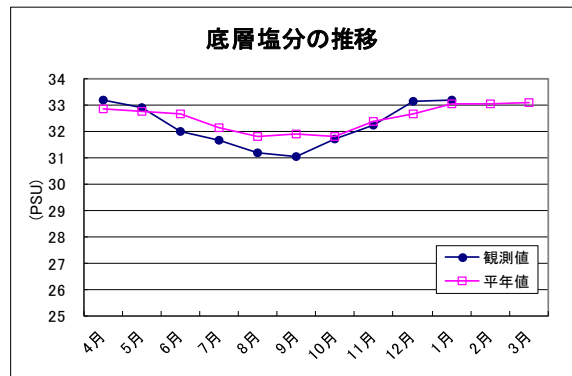
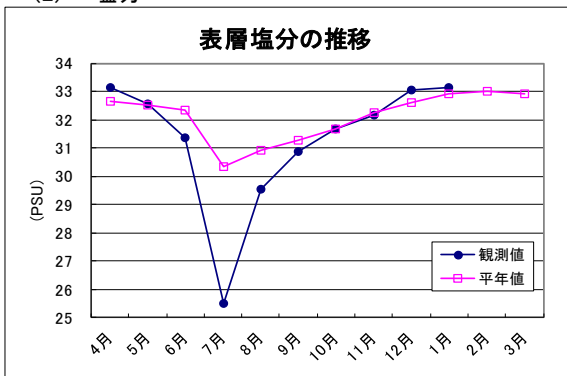
- ・ 透明度はかなり高めでした。

調査結果(グラフ)

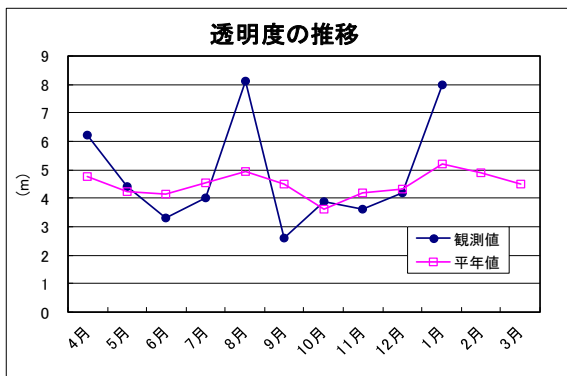
(1) 水温



(2) 塩分



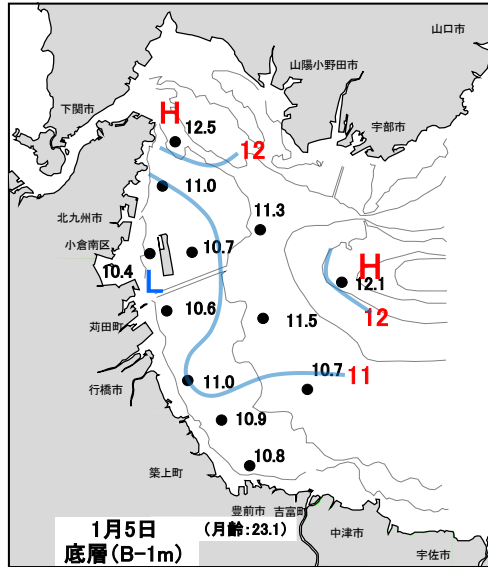
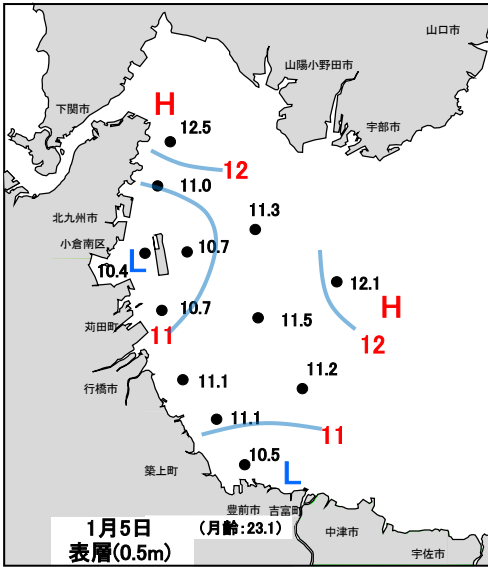
(3) 透明度



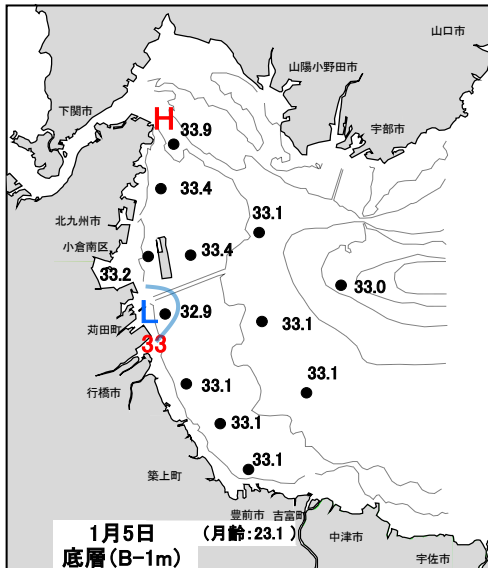
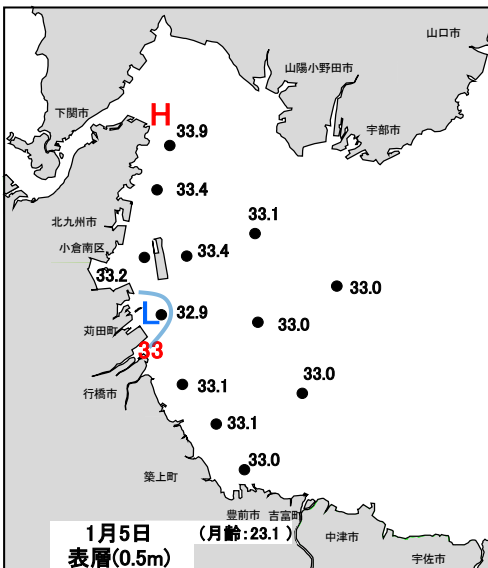
3. その他

- ・ 北部と南部の沿岸域調査点の表層と5m層の海水中に麻痺性貝毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・ 調査区域内で赤潮による海面の変色は見られませんでした。
- ・ ミズクラゲが多い海域があります。

水温



塩分



透明度

